

平成二十一年度 京都府公立高等学校入学者選抜学力検査

検査 1

国語

解答上の注意

- 1 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題は、この冊子の中の1～4ページにあります。
- 3 答案用紙には、**受付番号**を書きなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 解答は、それぞれの問題に示してある**【答の番号】**と、答案用紙の**【答の番号】**とが一致するように注意して、答案用紙に答えを記入しなさい。
- 5 答えとして記号を選ぶものは、答案用紙の答の欄の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 6 答えとして記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 7 答案用紙の採点欄には記入してはいけません。
- 8 答えの書き方について、次の例を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 火曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………**答の番号【1】**

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 次の説明のうち、正しいものはどれか、(ア)～(エ)から一つ選べ。……………**答の番号【2】**

(ア) 北と反対の方角は西である。

(イ) 南と反対の方角は東である。

(ウ) 東と反対の方角は西である。

(エ) 西と反対の方角は南である。

(2) 次の数のうち、奇数はどれか、(ア)～(オ)から三つ選べ。……………**答の番号【3】**

(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3
(エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号	答の番号	答の欄	採点欄
(2)	(1)		【1】	【1】	水 曜日	【1】
【3】	【2】		【2】	【2】	アイウエ ○ウ	【2】
			【3】	【3】	アイウエオ ○ウ	【3】

検査	
1	
受付番号	
1	23456
得点	

「字数制限がある場合は、句読点も一字に数える。」

① 次の文章は、「続古事談」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問い(1)～(5)に答えよ。(12点)

① 故少納言入道、人にあひて、「敦親はゆゆしき博士かな。物をとへば知らず知らずといふ」といはれけり。其れを問ひたる人、「知らずといはんは何のいみじからんぞ」といひければ、「身に才智あるものは知らずといふ事を恥ぢざる也。実才なきものの、よろづの事をしりがほにするなり。すべて学問をしては、皆の事をしりあきらむる事と人のしれるは僻事也。大小事をわきまふるまでするを、学問のきはめといふなり。それを知りぬれば、難議をとはれて知らずといふを恥とせぬなり」とぞいはれける。

注 「新日本古典文学大系」による

- ① 故少納言入道＝藤原通憲
- ② 敦親＝藤原敦親
- ③ 難議＝難しい事柄や言葉の意味

(1) 本文中の「いふ」・「いはれける」の主語は誰か、最も適当なものを、それぞれ次の(ア)～(エ)から一つずつ選べ。 答の番号【1】

(ア) 故少納言入道 (イ) 敦親 (ウ) 其れを問ひたる人 (エ) 其れを問ひたる人の主語は誰か、最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 答の番号【2】

- (ア) 知らないと言ったのがどうしていけないのかということ。
- (イ) 知らないと言ったのはどのような人物なのかということ。
- (ウ) 知らないと言ったのがどうしてすばらしいのかということ。
- (エ) 知らないと言ったのはどのような意図なのかということ。

(3) 本文中の「実才なきものの、よろづの事をしりがほにするなり」の、「実才なきもの」と対比的な意味の表現として最も適当なものを、本文中から八字で抜き出し、初めと終わりの二字を書け。また、「しりがほ」を現代仮名遣いに直して、すべて平仮名で書け。 答の番号【3】

(4) 本文中の「僻事也」は「間違いである」という意味であるが、ここではどのようなことに対して間違いであると述べているのか、最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 答の番号【4】

- (ア) 学問を修めるとはすべてのことについてすっかりわかることであると、人々が思っていること。
- (イ) 学問を始めたけれども途中であきらめてしまった人のことを、非難して責めること。
- (ウ) 学問によってものごとを知っていくことはそれほど必要ではないと、多くの人が考えていること。
- (エ) 学問を通してあきらまなくなったものごとを、人々にすべて知らせてしまうこと。

(5) 次の文章は、本文中の「知らずといふを恥とせぬなり」についてまとめたものである。これを読み、後の問い①・②に答えよ。

「知らずといふ」ことを「恥とせぬ」のは、どういうわけなのか考えてみると、まず、「それを知りぬれば」という表現に気づく。「それを知る」ゆえに「恥とせぬ」のである。そしてこの「それを知る」とは具体的には「I」ことができるようになることを意味していると理解できる。

このことから、「知らずといふ」のは、その人が「II」ことのあらわれなのである、という考え方が、ここでは述べられていることがわかる。

① I に入る最も適当な表現を、本文中から九字で抜き出し、初めと終わりの二字を書け。 答の番号【5】

② II に入る最も適当なものを、次の(ア)～(オ)から一つ選べ。 答の番号【6】

- (ア) 知識を多く得ることに価値をおき、常にそのための努力をしている
- (イ) 大切なことを学習できたのに、学んだことの多くについて忘れていく
- (ウ) 向上心を高く持ち、さまざまな人の教えを進んで受けることができる
- (エ) 重要なところを見分けることができ、ものごとの本質を理解している
- (オ) 自ら思考することをすぐにあきらめ、安易に人に頼ろうとしている

検査1 国語答案用紙

二														一					問題番号						
(12)			(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)		(4)	(3)	(2)		(1)					
⊖	⊖	⊖												⊖	⊖										
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号の					
ア		ア	ア	ア	ア				I ア		① ② ③ ④ ⑤	ア	I ア	ア	ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ	ア	ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ	ア	ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ	a ア					
イ		イ	イ	イ	イ			イ	イ	イ		ウ	イ	ウ		イ		イ		イ	イ	イ	イ	イ	イ
ウ		ウ	ウ	ウ	ウ		ウ	ウ	ウ	エ		ウ	ウ	ウ		ウ		ウ		ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	f ア
エ		エ	エ	エ	エ		エ	エ	エ	オ		エ	オ	エ		オ		エ		オ	エ	オ	エ	オ	イ
								エ	エ	カ		キ		エ		カ		キ		オ	エ	カ	キ	ウ	ウ
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】						
																					採				
																					点				
																					欄				

検 査
1
受 付 番 号
得 点

検査1 国語 正答表

二													一						問題番号			
(12)			(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)		(4)	(3)	(2)		(1)		
㊦	㊧	㊨												㊦	㊧							
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号の		
㊨	季節感を失っている	㊨	㊧ ㊦ ㊨	㊨	㊦	㊦	㊦ ㊦	た く す	I ㊦ II ㊦	店頭	㊦ ³	㊦	I ㊦ II キ III シ	㊦	㊦	㊦	㊦	㊨	a ㊦ f ㊦	答の欄		
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	備考欄		
							完全解答						完全解答									
2	2	2	(各)2	2	2	2	2	2	(各)2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(各)2	2	(各)2	配点